



豊かで 住みよい 町づくり

VoL.
41

議会だより

2011. 5. 1 発行

上 勝

臨時議会・3月定例会

4P 東日本大震災への動き

5P 一般質問 5名が町政について質問

10P 研修報告 生涯現役で過せる町

11P インタビュー バドミントンの会

12P 写真で紹介 まちのようす



中学生の巣立ち

平成23年度 一般会計当初予算

5名の賛成で可決

総額

28億4,100万円

昨年度、一般会計当初予算は23億7,600万円、今年度は4億6,500万円の増加となる。うち緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再成特別基金事業が合計4億69万3千円、中山間直接支払事業（23地区）2,367万8千円、集落支援員事業320万円、棚田サミット事業1,474万6千円などがある。

◆当初予算の様子を家計に例えてみました◆

収入

収入の種類	収入(円)	構成比(%)	平成23年度の歳入
年収	174,679	5.3	町税
預金取崩し	553,698	16.8	繰入金
雑収入 (パート収入等)	154,904	4.7	使用料・手数料 分担金・負担金 財産収入・諸収入・寄附金
前の年の節約	13,183	0.4	繰越金
親からの援助	1,219,454	37.0	地方交付税
	158,199	4.8	国庫支出金
	715,194	21.7	県支出金
	46,142	1.4	地方譲与税
	16,479	0.5	地方消費税交付金
	16,479	0.5	その他の交付金
新しいローン	227,412	6.9	町債
計	3,295,823	100.0	

支出

支出の種類	支出(円)	構成比(%)	平成23年度の歳出
ローンの返済	481,190	14.6	公債費
家の購入・改築 車の購入など	365,836	11.1	普通建設事業費 災害復旧費
衣食費	553,923	16.2	人件費
自治会費・交際費 同好会費など	276,849	8.4	補助費等
子どもへの仕送り	290,032	8.8	繰出金
電気・水道・ 消耗品など	1,011,818	30.7	物件費
教育費・医療費	234,004	7.1	扶助費
預金	42,846	1.3	積立金
家、車などの修繕費	19,775	0.6	維持補修費
生命・損害保険 など	26,367	0.8	投資及び出資金・貸付金
急な支出に備えて準備	13,183	0.4	予備費
計	3,295,823	100.0	

年収の額は、町の23年度当初予算額を町の世帯数で割算したもの

23年度当初予算額 28億4,100万円
世帯数 862世帯
年収の額 3,295,823円

平成23年度 特別会計予算

全員異議なく可決

総額

9億7,108万4千円

- 国民健康保険(事業勘定) 2億 3,500万円
- 介護保険 3億 7,518万5千円
- 国民健康保険(診療施設勘定) 1億 2,599万9千円
- 国民健康保険(福原診療施設勘定) 2,674万3千円
- 上勝町東地区簡易水道事業 1億 3,447万円
- 上勝町西地区簡易水道事業 1,748万9千円
- いっきゅう地区簡易水道事業 1,411万2千円
- 奨学資金 216万2千円
- 後期高齢者医療事業 3,802万3千円
- 高鉾財産区 90万5千円
- 福原財産区 99万6千円

会期 10日
開会 平成23年3月7日
閉会 平成23年3月16日

第2回 定例会

一般会計

補正 1,744万5千円追加

総額 29億 1,314万9千円

主なもの

- 住民生活に光を注ぐ交付金事業 3,360万円(落石防護柵)
- 国土調査事業 2,102万2千円

特別会計(国民健康保険)

事業勘定 295万9千円追加

診療施設勘定 279万8千円追加

福原診療所施設勘定 725万円減額

補正予算
平成22年度一般会計補正予算(第5号)
4名の賛成で可決
平成22年度特別会計補正予算(第2・3号)
全員異議なく可決

補正予算

第1回 臨時議会

会期 1日
平成23年1月31日

上勝町単独住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
全員異議なく可決
補正予算
平成22年度一般会計補正予算(第4号)
全員異議なく可決

補正 1億 369万1千円追加

総額 28億9,570万4千円

主なもの

- きめ細かな交付金事業により宿泊施設整備工事(旧正木教員住宅)
- 温泉バス購入

主な討議

15才までの医療費無料化のための条例改正について

賛成

一度決めたら10年行くと
いうのではなく、早く良い
方に変えていくべき。

賛成

反対

少額でも自己負担するの
が健全なあり方だ。

賛成

町民の安心安全のためだ。

賛成



大字旭
早川 賢治

人権擁護委員の任命に
同意しました(敬称略)

●任期 平成23年7月1日より
平成26年6月30日まで

市町村議会における「森林
林業林産業活性化促進議員
連盟」結成促進の陳情

●意義を認め、採択とする
産業建設常任委員会

尖閣諸島をはじめ我が国の
領土領海を守るための意見書

●尖閣諸島の船舶の安全航行漁場、
外国船の違法操業の警備体制強
化、自衛隊の領域警備の法制度
を確立すること

提出者

阪松明義 全員

賛同者

提出先

内閣総理大臣
他7人

条例改正

特別会計設置の条例の一部改正
全員異議なく可決

乳幼児等医療費の助成に関する
条例の一部改正

4名の賛成で可決

保育所入所措置条例の一部改正
全員異議なく可決

保育所の設置及び管理に関する
条例の一部改正

全員異議なく可決

常勤の特別職の給与及び旅費支
給に関する条例の一部改正

全員異議なく可決

教育長の給与、勤務時間その他の
勤務条件に関する条例の一部改正
全員異議なく可決

単独住宅の設置及び管理に関する
条例の一部改正

全員異議なく可決

物品購入契約の締結

月ヶ谷温泉バス1台を購入
全員異議なく可決

協定の締結

定住自立圏形成協定の締結
全員異議なく可決

計画の策定

第3次上勝町活性化振興計
画の策定
全員異議なく可決

主な討議

補正予算について

反対

三セクの町頼みで歳入欠損が出
ている。改めよ。

反対

第三者検討委員会が入っても三
セクの甘えは変わっていない。

賛成

国土調査等住民に密接した緊急
事態が組まれている。

当初予算について

反対

8,000万円ぐらいの無駄な事
業がある。

賛成

当初予算を通さないと町民全体
に影響が出る。

東日本大震災への動き

今回発生した未曾有の東日本
大震災に対して、世界各国から
同情や励ましと合わせて沢山の
人々のボランティア、また、義
援金を送られて来ている。

上勝町も理事者と議会が協議
をして、100万円の義援金を予備
費より支出を決めた。

町民に対しても、社会福祉協
議会をとおし、日赤奉仕団、各
協議員の方々にお願いし、義援
金を集めている。

本町の備蓄品（非常食）も3
月21日の県からの要請により供
出した。

避難所で何も無く、希望を失
いかけて不自由な生活をしてい
る人達に、役立つのであればと
の思いからの行動である。

議会も何かお手伝いしたいと
思い、議員全員で10万円を社会
福祉協議会を通じ日本赤十字社
へ義援金を出した。

南海大地震が近々来るという
のは想定されている。しかし、

それがどの程度か予測すること
は難しい。

けれども原発が事故を起こし
たらどうなるかは想定でなく、
今まさに現実となっている。こ
れほど悲惨を生み出すものを、

たとえ多くの電気を生み出すか
らと利用しても良いものだろうか。
太陽光、風力、水力、バイオ
ガス、自然は無尽蔵の安全なエ
ネルギを恵んでくれる。これ
を感謝して活用していくのが人
間の知恵であり、私達の進む道
でないか。



備蓄品

福祉優先の町に

若者定住実績

問 この5年間の若者住
宅建設と若者・U
ターン者数は。

答 建設課長

9棟3力所に26戸建設し、
内24戸に入居中。
1・Uターン者は15戸に
入居中。大人21人、子供5
人だ。

問 この間、小中在校生
の年度別変化は。

答 教育長

103人（18年）↓96↓99↓95
↓98人（22年）だ。

問 これに対する直接投
資額は。

答 建設課長

住宅建設に3億7,000万。

答 住民課長

転居支度金に150万円だ。

旭住宅高い建設費

問 単価82万円33平方メ
ートルと高価な理由は。

答 町長 斬新なデザイ
ン。鋼材を多
用。ガラス張。業者2分割
などが原因だ。

問 町外の大きい業者が
町内業者の下請けに
入った。極めて不自然だ。

答 町長 そうは思わな
い。同じ場所
で2業者の仕事进行调整し、
管理監督させた。

問 設計監理業者はどこ
か。

答 建設課長

開設設計事務所だ。

問 落札業者はいくらの
単価で入札したか。

答 建設課長

A工区中尾建設81万2,0
00円、B工区もくさん81
万1,000円。

問 落札率は何%か。
予定価格は公表か。

答 建設課長

予定価格は公表した。予定
価格、A工区：51,91
5,000円（97%）、B
工区：66,830,000
円（97%）。

問 北島はもくさんの株
主、社長は笠松町長
という関係だ。北島に仕事
をさせねばならない事情が
あったか。

答 町長 絶対にあつて
はならない事
だ。

問 前回と酷似、平成14
年、入札前に電話通
報で「三セクが落札、北島
が下請けする。おかしいで
はないか」と。今回はどうか。

答 町長 全く聞いてい
ない。

問 異常な下請けだ。町
内の零細業者（孫請）
が採算割れに泣かされた。
聞いていないか。

答 町長 全く聞いてい
ない。

**住宅リフォーム助成
制度を**

問 住宅リフォーム助成
制度を作り、町民住
居の改善と職人の働き場所
の確保をはかれ。

答 町長 すでに実施済
みの方もある。
慎重に考えねば。

問 全国で多くが実施し、
県下でも石井町など
次々実施する、「社会資本
整備総合交付金」が活用で
きるのでは。

答 町長 国に問い合わ
せる。

テレビ宅内機器は

問 宅内機器決定と、そ
の価格と価格は、適
用は何日からか。

答 総務課長

昨年12月から実施中。加入
金12万7,470円だ。す
でに2月から実施している。

問 テレトクはBSを送
信開始した。NHK

に契約を迫られて困惑して
いる人がある。

答 総務課長

テレトクから協議はあった。
見ない人は契約の必要はな
い。なお、テレトクの新サー
ビスとして、デジタル・ア
ナログ変換して配信してい
る。

問 IP電話は要らない人
も多い。Voipの
押し売りは止めよ。

答 総務課長

IP電話は郡内無料だ。はじ
めの投資は必要だが、町民
の利益になる。

中学生医療費無料化

問 中学生の医療費無料
化はいつ実施か。

答 町長 4月1日だ。

問 75歳以上の高齢者も
無料化すべき。

答 町長 財政的に難し
い。

このほか
・映画事業に2,000万
円もの補助金
・雇用創出交付金事業
・小水力発電の開発
なども質問した。

一般質問

町政を問う

3月定例会の一般質問には
5人が質問しました。



明本恵一 議員



片山文昭 議員

県道徳島上那賀線 福川・藤川工区の竣工式は 実施するのか

東北関東大震災で亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げます。また、震災に遭われた方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

問 県道徳島上那賀線の福川から藤川までの間が、今年夏までに開通すると聞いているが竣工式はするのか、実施するのであれば、実施時期と内容は。

答 町長 町民が待ちに待っていた2車線化であるので、県、地元関係者と十分協議しながら開通式を実施したいが、時期、内容はまだ決まっていない。

町道の路面補修の実施計画はあるのか

問 町道の維持管理について、非常に路面が悪く通行に危険な状態になっている箇所が多く見受けられるが、町は把握しているのか。

答 建設課長 平成19年度までは町単独事業で痛みの激しい箇所から実施していた。



正木トンネル（藤川側）

問 町長がいつも言っている町民の安心安全は、町民がいつも通行している足元からすべきでないか。

答 町長 質問の趣旨はよく分かるので、予算の確保に努め、わるいところを重点的に維持補修していきたい。

高鉾公民館の新築計画は

問 前回の質問のとき、平成22年秋頃までに、基本構想の中で建物方法、手段、場所の策定業務を完了したいとの答弁だった。基本構想は出来たのか。

答 教育長 県単の補助事業で、取り壊し跡地に新築、改築、新たな場所に新築、耐震補強またはその他バリアフリー等考慮した改修工事にするか検討してきた。新築の場合1億5千万円以上、改修する場合概算で8千万円必要のため、県単事業での見通しが立たなくなった。継続して検討させて頂きたい。

集落支援員を配置するのか

問 集落支援員を配置するのか。身分は、期間は、仕事の内容は。

答 町長 集落支援員は配置する。集落で人選した人に町が支援員として嘱託させて頂く。非常勤の特別職で身分保障も図る。期間は、1ないし2年。

集落再生プロジェクト 事業は

問 各集落より再生計画が提出されていると思うが、公表してはどうか。

答 町長 関係者の同意を得れば公表したい。

答 町長 引き続き予算措置も補助事業として残す。

問 計画が進んでいる集落はどのように予算措置をするか。

答 町長 集落支援員を配置し専任的に行う。景観整備は集落環境整備事業で行う。

問 計画が作成できていない集落はどうするか。



多田和幸 議員

県道改修は

問 正木工区の供用開始はいつか。

答 建設課長 夏ころに向けて整備を進めている。

問 旭地区の工区指定はされているか。

答 建設課長

これまでの局所的な整備から連続する一定区間の県道拡幅と、待避所の設置を組み合わせた15車線のな道路整備に着手、改良区間の検討を行っている。

問 区間はどこからどこまでか。

答 建設課長

田野々橋の上から八重地川口橋渡りづめまで。

瀬津地区の上水道整備は

問 今後具体的にどのような進めるか。

答 町長 町道改良は無理である。

問 瀬津地区の作品の制作が遅れているが財源はどのようにしているか。

答 町長 里山の彩生委員会で管理している。

問 進入路起点は町道剣山線の大北橋右岸になるが町道改良と共に進めるべきと考えるが。



鹿島國男 議員

災害対策は大丈夫か



渡部厚子 議員

地域に合った 災害対策を求める

渡部

まずは応急的な
必要を考える

総務課長

問

ハイゼックス、アルファ米など一食分でゴミがたくさん出る。災害時は衛生上もゴミを減らすべきである。都会用でない地元に向けた、ゴミの出ない災害対策を立てる必要がある。

答

総務課長

災害時には3日分の食料飲み水が必要。ハイゼックスは袋分の清水があれば炊ける。アルファ米も少量の湯で足りる。ゴミ問題も重要だが、まず応急的な必要を考える。

もくさんの 火災原因は？

問

ハイゼックスは使いにくいし、破れやすく泥水が入る。しかも炊き出し訓練はイベント化している。今回の地震を見ると3日より長期になる。

答

総務課長

集落再生事業と合わせて要所要所の建物に米、味噌、薪など蓄えて管理するようにしては。



チップ材料置場

着したか、配線がショートして火元になったと聞いている。清掃など管理工程の徹底を指導したい。

問

産業課長

チップ製造機は応急処理をして使っていたが、22年度予算で振るい機を買うようになっていた。破砕式から切断式に変えるような案もあったと思うが。

答

産業課長

振るい機はチップの大きさをそろえるためだが、細長いのが目を通るということで導入しないことになった。
23年度は定期点検の予算を計上しているだけで、修繕結果を見てまた検討したい。

木材だけの分離 発注できないか

問

建設業者が低額で落札し、材料代をたたく。木材だけでも分離発注できないか。

答

建設課長

木材加工のみならそれ程でもないが、分離発注すると現場担当者や職員の負担が大きくなり対応できない。

問

上勝町の森林を活用性化させるためには木材関係の専門家をひとり入れてもよいのではないか。

答

町長

木質バイオ発電とか、けた違いの供給先がなければ木材は出ないが他の燃料が安いので経済ベースに乗らない。だから専門家を雇っても役に立たない。

災害が起こった時は

鹿島

自分の身は自分で守る

総務課長

問

災害時の危機管理は。

答

非常食は。

問

総務課長

災害の対応には、東日本大震災であったように、まず自助、次に共助、3番目に公助である。自分の身は自分で守ることが大切だ。それと、全国瞬時警報システムも本年度整備している。

問

総務課長

わずか1,200食、毛布は、支所と本庁に置いてある。

問

各分団に、オートバイを配置しては。

答

総務課長

災害時に乗ってこれるか、又、点検が必要なので、各自のを利用してほしい。

問

ヘリポートを増設しては。

答 総務課長

適地があれば検討したい。現在は、福川グラウンド、彩公園、福原農村公園、旭集落センター。

問

アマチュア無線のレピーターを設置しては。

答

総務課長

非常に有効な手段であるので、今後検討したい。

問

府殿地区の水道整備は。

答

建設課長

23年度の当初予算で、給水施設基本計画の検討業務に係る予算を計上している。

問

給水車は用意できているか。

答

住民課長

給水車ではなく、給水タンクを用意している。



満開の桜

棚田サミットの 受け入れ態勢は

問

棚田サミットの受け入れは。又、料理の試食は。

答

町長

1月の広報で民泊の募集をして受け入れ農家の拡充に努めている。3月9日現在、8軒で30人。220人は必要なので、もっとお願いしたい。

問

彩の映画は。

答

産業課総括参事

負担金2,000万円を当初予算に計上、財源は、過疎対策事業債へのソフト分を利用、主に、ロケ費用と彩の造園地の整備。5月中旬から6月上旬に向けて第1回の撮影をする。

料理の試食はまだしてない。

委員会・研修報告

総務常任委員会視察研修

福井県敦賀原子力発電所

平成23年2月22日

東日本大震災の起きる2週間余り前に、原発を視察して来た。

若狭湾の美しい海岸線に囲まれ、古くから日本の表玄関として栄えてきた港町、敦賀市。昭和45年に敦賀発電所1号機、昭和62年に2号機の営業運転を開始している。電気は関西電力、中部電力、北陸電力を通じて工場や家庭に送られている。原子力発電は日本の電気の約3割をつくっている。

3月11日から、毎日、テレビで伝えられる原発事故の惨事は、地震の多い日本では原子力発電は不向きであることを教えているように思える。

(鹿島)



総務常任委員会研修報告

福井県おおい町

平成23年2月23日

おおい町は平成18年3月に大飯町、名田庄村が合併した。おおい町は原子力発電施設立地の町。西日本最大の電力供給基地で関西エリアの約1/4の電力をまかなっていること。『生涯現役で過ごせる町』の基本理念、高齢化の進行やライフスタイルの変化により、生活習慣病が増加し壮年期での死亡や介護者の増加が社会問題となっている。

地域性を考え、保険福祉サービスの向上に努め、地域内での事業展開や施設の充実、地域団体の活動支援を行って来た。今後も地域のニーズに応え、まち全体として一体的な健康づくりを推進していく必要があるので「おおい町新ヘルスプラン」を策定した。

携帯電話を活用し、現在20名余りが健康管理に取り組んでいる。

本町でも、今後こうした取り組みが必要でないか。

(阪松)



おおい町役場

「議会基本条例の制定」を目指して

住民が自らの意思と責任で、地域のことを決定することが、新しい地方自治のあり方である。こうした動きの中、町民から「議員たちは何をしているのか」との声を聞く。北島町へ研修に行くなど調査研究を重ね、住民に信頼される議会を目指し「議会基本条例」本年度制定に向けて特別委員会での議論をしている。

議員は、議会について「議会、町長、住民等の交流と自由な討論の広場」と位置づけこの理念に基づき議員主導で住民に開かれた条例を目指している。

町長とともに二元代表制における議会の役割。執行機関の監視機能、政策立案機能等この使命を達成するために議員は、積極的な情報の公開と共有、政策活動への多様な町民参加の推進、議員間の関連な討議の展開、町長等との行政機関との緊張関係の保持をはかり、自己研鑽と品位と品格を持つて活動する。

公正性と透明性の確保、議会運営のルール等を条例に盛り込み制定し、これを実行することにより町民から信頼される議会、議員となることを目指す。

インタビュー

バドミントンサークル シヤトルエンジニアス 代表 青木悦子さん

結成11年目、5人から始め、現在は20人弱が登録、ずっと葉利裕史さんが部長を務めていたが、昨年から青木さんに交代、毎週火・木曜日、夕方6時半から8時まで練習。

凍るような旭体育館、汗びっしょりになるまで打ち合う。参加したい方は体育館シューズを持って直接来ること。ラケットは余分がある。

(渡部)



小気味よくポンポン打ち合い



和気相々と激しく競う



- 見ていると簡単そうだが全身運動。頭も使う、かけひきがいる。
- 私が一番年長だが、若い人が誘ってくれるのでやっぱり来る。
- わいわい言いながら家族みたいなつきあいや。
- カラオケも何も他にいくところないから来る。
- 1週間に1・2回の激しい運動はとても体に良い。
- 冬は羽根が堅いんでよく折れる。■話をしながらするのが楽しい。
- 小松島の大会に行ったことがあるが、小学生に勝てなかった。

会員の声

写真で紹介 まちのようす



南岡橋改良工事（正木）



彩公園ツツジ植樹（正木）



旭住宅内覧会（旭）



あすなるクラブ野外活動（高丸山）



壁画（生実）



徳島上那賀線改良工事（市宇）

編集後記

本来科学技術は人間を災害から守り、救済するものだ。

しかし現代科学の粋である原子力発電は災害を一層耐え難いものにした。

人は飽食に慣れると体に悪いとわかっていても止められない。そして電気の有り余る生活に私達はどつぱり漬かってしまった。

今、被災者のために私達は献金をしたり、節電をしたり、何ができるかあれこれ考えている。

そのときに一番重要なことは、過去において何をすべきでなかったか、将来何をすべきでないかを考えることだ。

でないと人間に未来はない。

（渡部）

